

令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

キツネメバル日本海北部

対象水域	日本海北部（青森～石川）	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター 水産総合研究所、秋田県水産振興セン ター、山形県水産研究所、新潟県水産海 洋研究所、富山県農林水産総合技術セ ンター水産研究所、石川県水産総合セ ンター
------	--------------	-------	--

(1) 調査の概要

- ・機構は生物情報の収集、各県の漁獲情報の集約、日本海北部における標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施
- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・秋田県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・山形県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・機構は各府県調べの漁獲量を集約、日本海北部における標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_09.pdf、2023年11月20日閲覧）を参照
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和2年度に作成および公表済み
（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_09.pdf、2023年11月

20 日閲覧)

- 多くの地域で、集計値がクロソイ等の他種と合算されており、精査が不可欠
- タヌキメバルとは普通に交雑する
- 日本海北部による標本船調査でのデータ蓄積がさらに必要